

講師の方

による南極教室

1月20日(月)、特別授業が行われ、講師の方を招きました。講師の方には企業のインフラ整備の一環として南極で活動した経験について授業を行ってもらい、子供たちに貴重な体験談を共有していただきました。

授業では、南極での生活の様子や地球温暖化の原因を探る調査の重要性について説明がありました。さらに、南極での厳しい環境下での挑戦や、そこで得られた科学的データの意義についても語られ、子供たちは真剣に耳を傾けていました。

授業中、子供たちからは「南極の氷は食べられますか?」「オーロラはどうして見られるんですか?」といったユニークで好奇心に満ちた質問が次々と飛び出しました。講師の方は一つひとつ丁寧に答えながら、南極という特別な環境が持つ科学的・自然的な魅力を伝えました。

最後に、先生からは「SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、環境問題への意識を高めていってほしい」とのメッセージが子供たちに贈られました。この授業を通じて、子供たちは地球規模の課題とその解決に向けた行動の重要性について学びました。

今回の特別授業は、子供たちが地球環境や持続可能な社会に目を向ける良いきっかけとなりました。未来を担う世代がこうしたテーマに関心を持ち、学びを深めることが、より良い未来の実現に繋がることを期待します。

